

高知県立坂本龍馬記念館 平成 30 年度企画展概要

タイトル	会期	内容	主な展示資料
大義と忠誠の戊辰戦争— 会津・土佐・三春の幕末 明治—	〈前期〉7月17日(月)～8月16 日(木) 〈後期〉8月28日(火)～9月27 日(木)	戊辰戦争から150年、立場の違いから敵対することとなった会津と土佐、および戊辰戦争を契機として、のちに共同して民権運動を推進することとなった土佐と三春の姿を、展示を通して描く。前半は、幕末の京都で藩同士の交際関係にあった会津と土佐が、戊辰戦争で干戈を交えるまで、後半は、戊辰戦争において土佐藩断金隊の周旋によって降伏した三春藩と、明治期に三春出身の河野広中らが土佐の民権家と交流し、ともに運動する様子を紹介する。7月28日(土)講演会開催予定。	・土佐藩京都藩邸史料 ・錦旗(林原美術館) ・泣血氈(会津若松市) ・片岡健吉関係資料(片岡家、高知市立自由民権記念館) ・河野広中関係文書(国立国会図書館)
特別展「龍馬」展(仮称)	〈プレ展示〉10月2日(火)～ 〈前期〉10月25日(木)～11月25 日(日) 〈後期〉12月1日(土)～24日(日・ 祝)	当館が4月21日にグランドオープンを行い、新たな館として歩みを始めたことを記念し、今秋に特別展「龍馬」展を開催する。幕末期に龍馬が思い描いていた新国家像が、明治維新を迎えてどのように開花していくのかを、様々な資料を通して紹介する。	・京都国立博物館所蔵の坂本龍馬関係資料(重要文化財) ・下関市立歴史博物館所蔵資料 ・県立歴史民俗資料館所蔵資料 ・他、個人所蔵の資料
ジョン・マンと呼ばれた 男「中濱万次郎」展(仮 称)	12月29日(土)～2月24日(日)	中濱万次郎(土佐清水市出身)は仲間4人と漂流の末、アメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助され、捕鯨船員として世界の海を航海した。貧しい漁民の次男であった万次郎は、鎖国時代に、船上やアメリカ合衆国で個人の能力が認められる民主的な考え方を学び、自らの意志で帰国。アメリカで「ジョン・マン」と呼ばれた万次郎の運命的な人生を紹介する。アメリカの恩人たちへ送った本人自筆書簡をはじめ、日本初公開史料など多く展示。会期中、直木賞作家・山本一力さんの講演会を開催する。	・ホイットフィールド船長宛万次郎書簡(米国・ホイットフィールド家所蔵) ・ブルック大尉宛万次郎書簡(米国・ブルック家所蔵) ・万次郎自筆手帳(中濱家所蔵) ・万次郎撮影の写真ガラス原版(同)ほか
土佐藩の京都・御所警衛 展(仮称)	3月2日(土)～4月下旬	京都御所には、禁門の変で有名な蛤門をはじめ九つの門がありますが、幕末は治安悪化をうけ、薩摩藩や会津藩等諸藩が警備にあっていた。土佐藩も東側にあった清和院門の警衛を命じられていた。当館が所蔵する「土佐藩邸史料」を通して、土佐藩の御所警備の様子を紹介する。	・「土佐藩邸史料」(当館所蔵)

高知県立坂本龍馬記念館 平成 30 年度事業（予定）

タイトル	日時	内容	備考
夏休み子どもフォーラム「幕末トリップ・龍馬－慎太郎バスツアー」（仮称）	8月19日（予定）	子どもたちが、龍馬の生涯や彼に影響を与えた幕末の人物等について学び、自由な意見交換や表現活動を通じて、子どもたちが主体的に考え、行動する力を育むことをめざすイベント。 今年、龍馬とともに新しい国づくりに力を尽くした人物のひとり、“中岡慎太郎”について考える。お話を聞いた後はワークショップで龍馬と慎太郎についてまとめる。	会場：中岡慎太郎館（北川村）
夏休み子ども教室	8月4日、5日（予定）	「紋切うちわづくり」など歴史や当館の展示内容をテーマにした、子供向けの工作教室。	会場：新館ホール
創作能「龍馬」	11月10日（土）	龍馬に影響を与えた絵師・河田小龍の曾孫にあたる宇高通成師（金剛流能楽師）による、龍馬脱藩をテーマにした創作能を再演する。平成15年11月初演。	会場：県立美術館能楽堂（ホール）
龍馬月間〈龍馬を楽しむ〉（仮称）	11月（日程未定）	龍馬の誕生月であり、なくなった月でもある11月を「龍馬月間」とし、龍馬をテーマとする様々なイベントを開催し、子どもから大人まで多くの方々に終日楽しみながら、龍馬について知っていただく。	会場：当館、他
龍馬月間〈龍馬を知る〉（仮称）	11月（日程未定）	龍馬の誕生月であり、なくなった月でもある11月を「龍馬月間」とし、様々なテーマで連続講演会を開催し、龍馬の人となりや業績等を紹介する。	会場：新館ホール